



ODK 報告書

第55期 報告書

2017年4月1日～
2018年3月31日

ごあいさつ

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)の
決算概況及び当社の現況をご報告させていただきます。

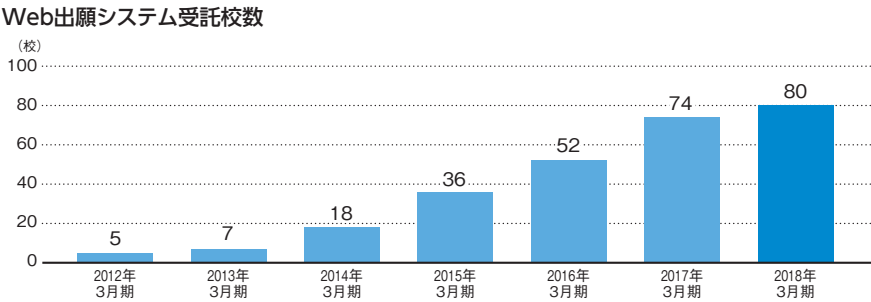
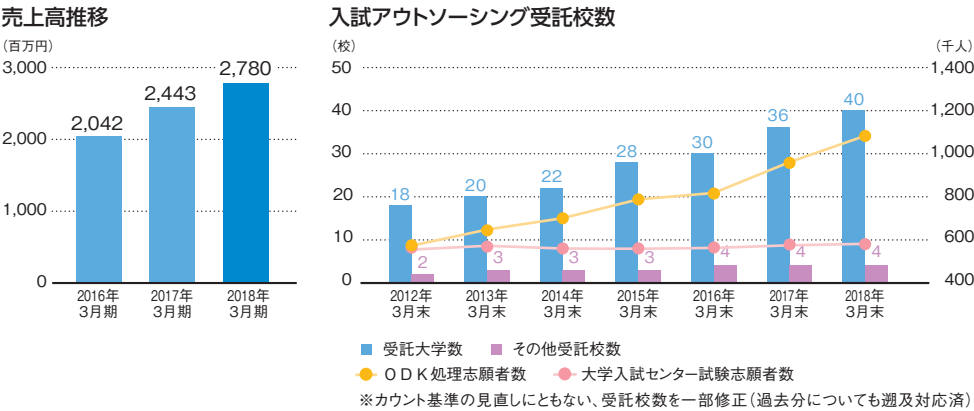
代表取締役社長 西井 生和



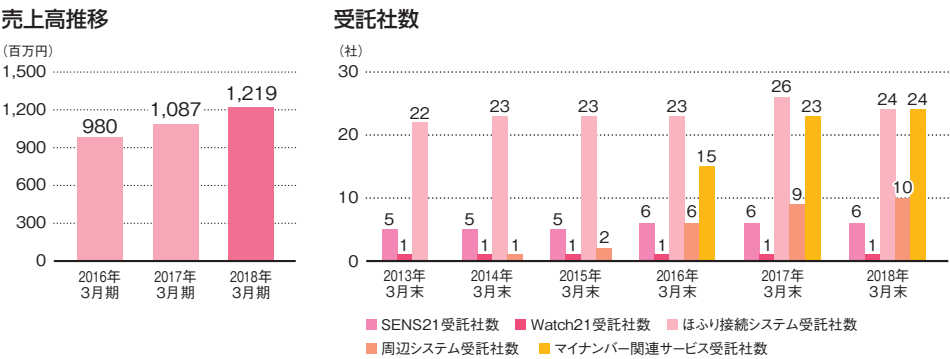
株主の皆様へ

2017年度は、「新しいODKへのモデルチェンジ」を掲げ、さらなる成長のためアライアンスを活用した
新規事業の創出に注力したほか、医療分野への本格的な進出に向けた動きを加速する等、新たな領
域へのチャレンジに取り組んでまいりました。
2018年度は「ODKを次のステージへ」というスローガンの下、AIやHRテックを活用した将来の主力
となりえる業務の創出や、「受験ポータルサイト『UCARO(ウカロ)』」をはじめとした主力サービスの拡販を
すすめてまいります。加えて、業務の自動化やアウトソースの推進を図り、組織力の向上・収益性の改
善を目指してまいります。
株主の皆様におかれましては、引続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

教育業務 (学校法人向けサービス)



証券・ほふり業務 (証券会社向けサービス)



ODKのサービス

教育関連サービス

入試に関する業務やWeb出願等に関する情報処理アウトソーシングのほか、「UCARO」等を提供。また、教育関連コンテンツを中心にアプリケーションの開発・販売をしています。

証券関連サービス

証券総合システム「SENS21」、不公平売買監視システム「Watch21」、ほふり接続システムのほか、マイナンバー関連サービスを提供しています。

医療関連サービス

臨床検査システムの運用業務やクラウド型電子カルテの開発及び導入支援等、医療関連サービスを提供しています。

新規サービス

AI技術を融合した顧客コミュニケーションの最適化サービスのほか、HRテック*関連サービスを提供しています。

※HRテック：人事分野でのテクノロジー

こんにちは、おでこです。
ODKソリューションズの
サービスをお伝えします！



おでこ
ODKちゃん
Webサイトやfacebookでナビゲーター役として登場しております。

中期経営計画

2018～2020年度

ODKを次のステージへ

当社は、本年度から「ODKを次のステージへ」という新たなスローガンを掲げております。
当社が目指すべき姿を改めて明確にし、競争優位にあるサービスを積極的に展開するとともに、外部環境の変化を的確に捉えた取組みを推進してまいります。

■経営目標(単体)		2018年度(予想)	2020年度目標
売上高		5,100 百万円	6,000 百万円
経常利益		330 百万円	450 百万円
配当		年10円の安定配当を堅持する	

■方針及び戦略と課題

基本方針

1. 将来の主力業務創出・育成

2. 収益力アップ

3. 組織力アップ

基本戦略

1. アライアンス・M&Aの活用、
情報分析・コンサル・マッチングソリューションの提供

2. 主力サービスの絞込み・拡販、
固定費の変動費化

3. 業務推進方法の見直し、
マネジメント層の強化・育成

重点課題

1. AIサービス、HRテック
サービスの提供

2. 教育改革対応、医療業務拡大、
本支店機能・インフラの最適化

3. 自動化・アウトソース推進、
能力開発・スキル向上

教育業界

教育改革の動向

大学入学者選抜改革推進委託事業の始動
→ 高校生活の中で蓄積したデータを大学入試で利用

1 Web出願システムにおける取組み

大学入学者選抜改革推進委託事業との連携

「大学入学者選抜改革推進委託事業」(文部科学省)とは？
大学入学者選抜改革における具体的な課題・問題点を整理するとともに、多面的・総合的な評価を行うための実践的で具体的な評価手法を構築し、各大学の入学者選抜改革を推進することが目的。

連携版Web出願システムを
2018年度に提供予定

2 UCARO拡販への取組み

機能強化・拡張を実現

- 受験票PDF出力
- 入学手続期間表示
- 合否照会コメント欄URLリンク有効化

【ご参考】導入校数

地域	2016年度	2017年度
関西圏／首都圏	13	33
中国圏／四国圏／九州圏	2	7

登録者数
約20万人

顧客ニーズの高い機能追加により
デファクトスタンダードを目指す

教育改革に対応したサービスの提供を加速

証券業界

証券業界の課題

- ✓ **IT技術の進展** (ユーザ利便性向上、FinTech時代に対応した制度点検等)
→ システムの重要性が増大、IT戦略が証券会社の経営を左右

「SENS21」の強みと拡販への取組み

→ ネット証券会社もターゲットに

強み

SENS21

コストパフォーマンスに優れる
カスタマイズが容易 等

新興のネット証券会社のスピード感、
固有のニーズにも対応

対面型証券会社のみならず、
ネット証券会社への提供も実現

DMM.com 証券

→ 「Watch21」・「ほふり接続システム」との
一体性強化

強み

長年にわたり培ってきた信頼と実績
強固なセキュリティが担保する可用性 等

今後のサービス展開



「SENS21」を多機能システムとして強化

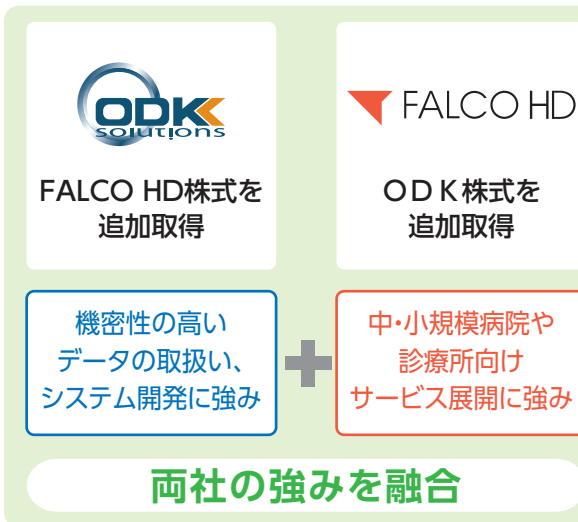
「SENS21」が業界の課題を“解決”

医療業界

IT技術の利活用

- ✓ **医療情報のデジタル化・標準化の推進**
→ 電子カルテの普及を促進

ファルコホールディングスとの連携強化



関係のさらなる強化 等

医療関連システムに関する業務領域拡大

これまでの取組み

- 臨床検査システムを運用
- 中・小規模病院向けクラウド型
電子カルテ案件を推進 (開発/導入支援)

ODK solutions

運用 開発 導入

ODK初
医療関連システム
へ着手

これからの取組み

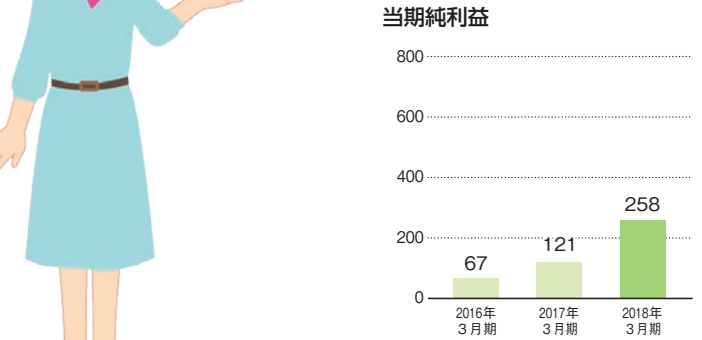
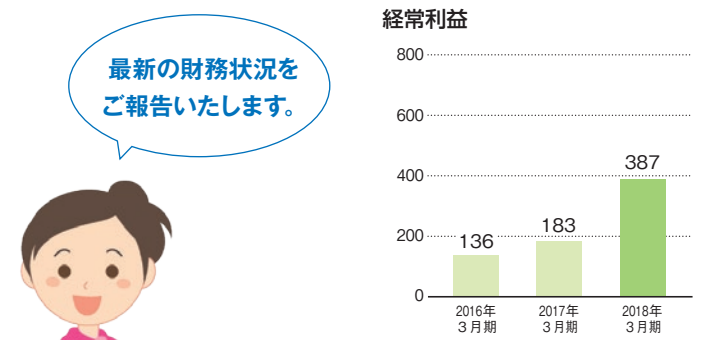
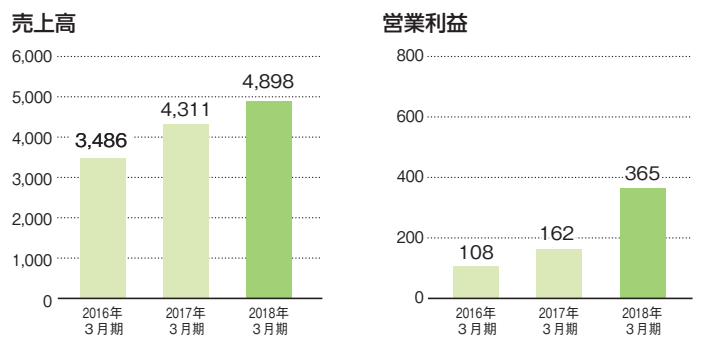
- 課題**
- ・ 厚生労働省等の動向への対応
 - ・ 顧客ニーズの多様化
 - ・ 各種外部環境変化への対応

FALCO HD 連携 **ODK solutions**

IT戦略をサポート

医療業界への本格的な進出へ

連結財務ハイライト (単位：百万円)



連結財務諸表 (単位：百万円)

連結貸借対照表

投資その他の資産の増加
(前期比 3億9,000万円の増加)

➡株式会社ファルコホールディングスとの関係強化に
ともなう株式の追加取得等による

	前連結会計年度末 2017年3月31日現在	当連結会計年度末 2018年3月31日現在
流動資産	3,776	4,287
固定資産	2,697	2,897
有形固定資産	412	467
無形固定資産	915	671
投資その他の資産	1,368	1,758 ←POINT
流動負債	974	1,210
固定負債	1,340	1,160
純資産	4,158	4,813
総資産	6,473	7,184

総資産・純資産

年度	総資産	純資産
2016年 3月期末	5,840	3,974
2017年 3月期末	6,473	4,158
2018年 3月期末	7,184	4,813

連結損益計算書

売上高(前期比 5億8,600万円の増収)

➡教育業務における新規受託や処理件数増のほか、
証券総合システム「SENS21」の導入開発や、
臨床検査システムの運用業務等により増収

当期純利益(前期比 1億3,700万円の増益)

➡臨床検査システムの運用業務等による費用の増加が
あったものの、売上高の増加等により増益

	前連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	当連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	4,311	4,898 ←POINT
営業費用	4,149	4,532
売上原価	3,318	3,623
販売費及び一般管理費	830	909
営業利益	162	365
営業外損益	20	21
経常利益	183	387
特別損益	▲ 0	▲ 0
当期純利益	121	258 ←POINT

営業利益の増減

項目	増減額
増収分	162
仕入高	▲5
機械賃借料等	▲31
支払手数料	▲76
労務費経費等	▲78
販管費	365
合計	365

連結キャッシュ・フロー計算書

財務活動によるキャッシュ・フロー

➡自己株式の処分による収入があったものの、
長期借入金の返済及びリース債務の返済により減少

	前連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	当連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
現金及び現金同等物の期首残高	1,563	2,353
営業活動によるキャッシュ・フロー	670	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 196	▲ 165
財務活動によるキャッシュ・フロー	316	▲ 213 ←POINT
現金及び現金同等物の増減額	789	▲ 78
現金及び現金同等物の当期末残高	2,353	2,274

キャッシュ・フロー

年度	営業キャッシュ・フロー	投資キャッシュ・フロー	財務キャッシュ・フロー
2017年 3月期	300	165	2,353
2018年 3月期	213	213	2,274

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社情報

会社概要		2018年3月31日現在
商号	株式会社ODKソリューションズ (英文名 ODK Solutions Company, Ltd.)	
設立	1963年4月1日	
資本金	6億3,720万円	
事業内容	情報処理アウトソーシングサービス (システム運用、システム開発及び保守、機械販売)の提供	
従業員数	135名	
ホームページアドレス	http://www.odk.co.jp	
事業所	■本社 〒541-0045 大阪市中央区 道修町一丁目6番7号 北浜MIDビル ■東京支店 〒104-0033 東京都中央区 新川一丁目28番25号 東京ダイヤビル ■五反田オフィス 〒141-0031 東京都品川区 西五反田二丁目11番8号 学研ビル	

役員		2018年6月27日現在
代表取締役社長	西井生和	
代表取締役専務取締役	勝根秀和	
常務取締役	森脇博文	
取締役	吉村美樹雄	
取締役	杉谷康伸	
取締役	作本宜之	
社外取締役	川口伸也	
常勤監査役	若林孝治	
社外監査役	水野武夫	
社外監査役	藤岡寛	

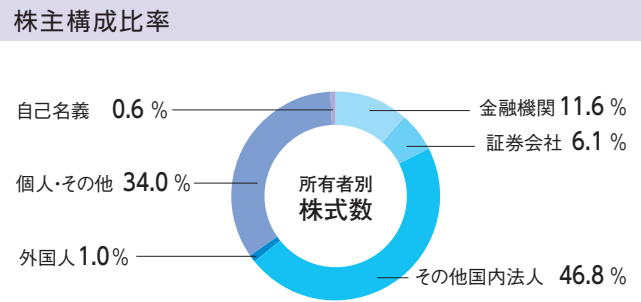
株式の状況

2018年3月31日現在

株式の概況			
発行可能株式総数	32,800,000株		
発行済株式の総数	8,200,000株		
株主数	1,600名(うち、単元株主数1,501名)		

大株主の概況			
株主名	持株数(株)	持株比率(%)	
株式会社学研ホールディングス	1,350,000	16.6	
株式会社ファルコホールディングス	850,000	10.4	
ナカバヤシ株式会社	450,000	5.5	
日本通信紙株式会社	400,000	4.9	
廣田証券株式会社	300,060	3.7	
日本システム技術株式会社	300,000	3.7	
株式会社三菱東京UFJ銀行	300,000	3.7	
株式会社三井住友銀行	300,000	3.7	
株式会社りそな銀行	300,000	3.7	
ODK従業員持株会	254,600	3.1	

(注1) 当社は、自己株式を50,032株保有しております。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
(注2) 「株式会社三菱東京UFJ銀行」は、2018年4月1日に「株式会社三菱UFJ銀行」へ名称を変更しております。



アライアンスを活用した新規サービスの創出



各分野において
強みを有する企業との連携

＋ カスタマーリレーション分野

zendesk
カスタマーサービスソフトウェア
『Zendesk』を提供

AI技術を結合し
顧客コミュニケーションの
最適化サービスを提供

＋ H R テック分野

TalenTA
デジタル面接サービス
『HireVue』を提供

1. 導入支援
2. リセラーとしてサービスを提供

IBM
Registered Business Partner
クラウド型分析ツール
『Watson Talent / Kenexa』製品群を提供

1. AI技術を活かした導入支援
2. リセラーとしてサービスを提供



ODKの組織力アップ

POINT1 外部リソースの有効活用



POINT2 能力開発・スキル向上

■能力開発制度の再整備
■中堅・若手社員の成長機会創出

■新たな戦力の確保
☑ キャリア採用選考に『HireVue』導入!
➡ マッチング精度向上等

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末3月31日 中間9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先	【郵便物送付先／各種お問い合わせ先】 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場(証券コード 3839)
株式に関する各種手続き	届出住所・姓名等の変更、単元未満株式の買増・買取請求、配当金の振込先の指定または変更等につきましては、口座開設されている証券会社へお届出ください。 なお、未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払につきましては、上記の株主名簿管理人までお申出ください。

ODKのコミュニケーション活動

<http://www.odk.co.jp>

投資家様にODKソリューションズの「今」を知っていただき、ご理解を深めていただくため、最新情報を様々なかたちで発信しております。

IR情報メール

最新のトピックスやプレスリリース、決算発表日程等を、電子メールにてお知らせいたします。

HTMLメール

イベント出展時の写真や様々な画像を掲載し、より分かりやすく当社の最新情報をお伝えしております。

IRTV

会社概要や事業戦略等について、スライドを交えながらトップ自らご説明しております。



メディア掲載情報

<http://www.odk.co.jp/media.html>

2017年11月22日 日刊工業新聞 22面

「人事評価におけるAI活用」について

2017年11月7日 日刊工業新聞 9面

「AIサービス」について

2017年9月2日 日本経済新聞(夕刊) 1面

「働き方改革」について

2017年6月30日 日刊工業新聞 5面

「UCARO」について



株式会社 ODKソリューションズ
〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目6番7号 北浜MIDビル